

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		IRIE尼崎		公表日		2026年 2月 27日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		活動内容に応じてスペースを使い分け、効果的に活用している	必要に応じてレイアウトの見直しを検討する	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		基準を満たした上で、子どもの状況に応じて体制づくりを行っている	引き続き、状況に応じた体制整備に努める	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		子どもの特性に配慮し、分かりやすい表示や環境設定をしている	個々の特性や利用状況に応じて、環境設定の見直しを継続する	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		清潔保持を保つとともに活動内容に応じた空間作りを調整している	引き続き、環境調整を徹底する	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		子どもの状況に応じて、個別で落ち着ける空間を確保している	利用状況に応じて、より柔軟な空間活用を検討していく	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		毎日の朝礼を実施し、目標設定と振り返りに取り組んでいる	引き続き、多くの職員が主体的に意見を出せる環境作りに努める	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		評価表を通して保護者のご意見を収集し、支援内容や運営の見直しに反映している	より具体的な改善に繋げられるよう、意見の共有方法を検討していく	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎日の朝礼・定例会議を行い、職員の意見を共有し業務改善に繋げている	意見をより効果的に改善へ活かせるよう努める	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		法人内の他事業所職員による相互確認を行い、外部的な視点を取り入れている	今後は必要に応じて、より客観的な評価方法の導入も検討する	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		社内外の研修受講後の振り返りや情報共有を行い、資質向上に繋げている	研修成果を支援に反映できる体制作りに努める	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		ガイドラインに基づき公表している	必要に応じて、より分かりやすい公表方法を検討する	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		聞き取りを行った上で、客観的に課題を整理しニーズに基づいた作成をしている	より丁寧な聞き取りと分析に努める	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		保護者からの聞き取りを記録した上で、計画会議を開催し検討・共有している	より多くの視点を取り入れられるよう意見交換の充実を図る	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画書会議や日々の朝礼を通して共有し、支援に反映している	引き続き、計画に沿った支援の徹底を図る	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		フォーマル・インフォーマルの両面からアセスメントを行っている	引き続き、アセスメント方法の充実に努める	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		ガイドラインに基づき、各支援の視点を踏まえて作成している	より具体的で、分かりやすい作成に努める	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		職員間で意見を出し合いチームで立案している	引き続き、チームで活動プログラムの立案に努めながら子ども達の興味関心を反映させていく	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		運動・制作・野外活動等を組み合わせて実施している	本格的に作業療法や英語を取り入れた活動を提供していく	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		子どもの状況に応じて個別と集団を組み合わせ作成、支援している	新たな活動を取り入れていく中で、より個々の特性に応じた調整を行う
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎日の朝礼にて役割分担や支援内容を確認している	引き続き、職員間での情報収集を密に行い質を高めていく
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		終了後に振り返りを行い、共有している	振り返り内容をより具体的に共有できる体制作りをしていく
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		日々の記録で検証、改善に努めている	引き続き、次回支援へ活かせる整備・記録をする
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的に計画の見直しを行っている	職員間で進捗確認の機会を増やす
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	○		ガイドラインの基本活動を意識して支援している	活動内容のさらなる充実を図る
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		選択場面を設け、自己決定を促している	引き続き、自己決定する力を育める環境を提供する
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		必要に応じ、会議に参加している	引き続き、支援会議に参加する中で情報発信を積極的に行う
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		保護者や相談支援員と連携し、支援を行う体制を整えている	引き続き、保護者や相談支援員を通して柔軟に対応する
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		送迎時等に情報共有している	学校との共有内容をより体系化する
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		就学前施設や相談支援員と連携を図り、情報共有している	必要に応じて、就学前施設への訪問を検討する
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		必要な情報を提供し、円滑な移行を支援している	引継ぎ内容の充実を図る
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○	○	必要に応じて情報収集を行い、支援の質向上に努めている	具体的な連携方法を検討し、必要時に助言を受けられる体制作りを進める
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		地域の公園に行くなど工夫している	感染症対策や流行に留意した上で機会提供に努める
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○	○	現時点で、協議会への参加は行っていない	自立支援協議会について全職員が周知できるような体制作りを強化する
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		連絡帳や送迎時等で日々の様子を伝え合い、発達状況や課題について共有している	共有内容をより具体的に伝えられるよう工夫する
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○	○	日々の相談対応を通して家庭支援に努めている	今後、家族向け研修や交流機会の実施について検討していく
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		利用開始時（契約時）に丁寧な説明を行っている	引き続き、丁寧な対応に努める
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		子どもや保護者の意向確認を行っている	意向をより具体的に計画へ反映する
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		計画内容を説明し、同意を得ている	専門用語を避け、分かりやすい表現を心掛ける
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		必要に応じた面談や助言を行っている	引き続き、相談しやすい環境作りを強化する

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○		夏祭りなど、交流機会を設けている	イベント活動を通じて交流の機会を設けるとともに増やしているよう努める
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		対応体制を整備している	さらなる迅速な初期対応を徹底する
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		日々のSNS更新や連絡帳を通して情報共有している	支援内容がより伝わる発信を心掛ける
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		鍵付き書庫で適切に管理している	定期的に管理状況を点検し、情報管理体制の強化を図る
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		分かりやすい説明や視覚化を心掛けている	個々の特性に応じた伝達方法をさらに検討する
非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		イベントを通して地域との関わる場を設けている	地域交流の幅や機会を広げられるよう検討する
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		マニュアル整備と訓練実施をしている	訓練の様子を分かりやすく周知出来るよう工夫する
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCPを策定し、定期的に訓練実施をしている	訓練内容の振り返りを行い、より実践的な想定を取り入れる
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		事前に状況を把握できるよう体制を整えたくえて、対応している	情報共有をより徹底する
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		保護者を通して、医師指示に基づく対応を取っている	引き続き、確認体制の強化に努める
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を策定し、研修を実施している	家族への周知方法の工夫をする
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		事前（契約時等）に保護者へ周知している	契約時のみではなく、SNS等を用いながら定期的な周知を検討する
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		その都度、職員間で報告書の共有をし周知できるように体制を整えている	ヒヤリハットや事故報告書だけでなく職員間への連絡ツールへの報告も検討する
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		研修を実施し、職員への周知と意識向上を図っている	継続的な研修実施と事例共有により、予防意識のさらなる強化に努める	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		現在該当する子どもの利用がないため、計画書への記載はしていないが、やむを得ず身体拘束を行う場合の基準を共有している	該当する子どもの利用が開始した想定で準備を進めておく	